



# にじいろ 虹色

- オーダーメイド型社会教育主事派遣事業始まる！
- 全国生涯学習センター等研究交流会で事例発表！
- 生涯学習センター 展示スペース情報

秋田県生涯学習センター（編集：社会教育アドバイザー）

全国的な新型コロナウイルス感染症の拡大により、秋田県も4月から感染者が増え始め、ゴールデンウィーク明けの5月中旬には秋田市の警戒レベルがレベル3からレベル4に引き上げられ、これまで以上に感染防止対策を徹底しながら事業をスタートしました。

今年度、秋田県生涯学習センターでは、「障害者の生涯学習」に関する調査研究の推進、「持続可能な地域づくり」を目指す研修・支援の推進、県民の生涯学習機会と学習情報発信の充実を3本柱として、様々な事業を展開しています。

今回は、オーダーメイド型社会教育主事派遣事業と全国生涯学習センター等研究交流会について紹介します。

## オーダーメイド型社会教育主事派遣事業始まる！

事業の立ち上げから3年目となる今年度は、鹿角市、北秋田市、藤里町、仙北市、三種町、県立ゆり支援学校を対象に行うこととなりました。

1回目は、5月18日（火）に花輪市民センターで行われた第1回鹿角市地域学校協働本部会議に、柏木睦副主幹兼学習事業班長、皆川雅仁社会教育メンター、進藤尊信社会教育主事の3名が出席しました。

約40名の地域学校協働活動推進員や各校の地域連携担当者等の参加のもと、柏木班長のファシリテートにより、「鹿角の子どもたちに何を残していきたいか？」というテーマで実際の熟議を体験しました。

各グループで参加者一人一人がそれぞれの立場からの自分の思いをしっかりと出し合い、充実した時間となりました。そして、それらの思いをまとめると、結果的に鹿角市が想定していた「10年後の目指す子どもの姿」と合致しており、将来を見据えて自分のできることを、みんなで力を合わせることをより具体的、主体的に考えることができたようです。

鹿角市では、今年度から全市の小中学校で学校運営協議会制度が実施されており、これから開催される各学校運営協議会単位で企画される熟議のノウハウだけでなく、同じ方向を向きながら主体性をもって具体的に考えてみるという最も大切な熟議の必要性、有効性を確認することができました。



リアル熟議の様子

# 全国生涯学習センター等研究交流会で事例発表！

5月27日、令和3年度全国生涯学習センター等研究交流会が、「生涯学習センター等における新たなネットワーク形成で生まれる地域支援の取組」というテーマで、新型コロナ感染拡大防止のためオンラインで開催されました。これまでの本センターの取組が評価され、皆川雅仁社会教育メンターが『「オーダーメイド型社会教育主事派遣」を通じた市町村等とのネットワークづくり』というタイトルでその取組について発表しました。

4年前に職員で熟議を重ね、社会教育の方向性として「開くこと」「つながること」を確認し合い、多くの視点からの現状分析と市町村のニーズ等の把握を行いました。その結果、様々な課題があって「学校・家庭・地域連携総合推進事業」に取り組むことが困難な市町村等に対する支援としてオーダーメイド型社会教育主事派遣事業が生み出され、展開されています。今年度も5市町1県立学校がエントリーして事業が進められていることを発表しました。

この取組は、昨年度文部科学省の「社会教育士について」という行政資料にも取り上げられました。この事業が市町村や学校、地域の役に立ち、持続可能な地域づくりや地域力強化につながるよう継続して取り組んでいこうと職員一同、決意を新たにしました。



## 生涯学習センター 展示スペース情報

- 6月 全県花だんコンクール写真展  
(秋田県花いっぱい運動の会)
- 7月 秋大附属特別支援学校ミニ学校展  
(秋大附属特別支援学校)

4月の「センターだより」でお知らせしましたように、4月は加藤吉雄氏による「日本の笹切りアート展」が行われ、2,016人と多くの方々に観覧していただきました。「40年も続けてこられたことに敬服いたします。根気のいる素晴らしい作品ばかりです。」「昔の仕事仲間として感動し、誇りに思います。」というような感想が寄せられました。

5月はパステルなごみアート仲間（江畑さん他）による「パステル<sup>なごみ</sup>和アート作品展」が行われました。パステル<sup>なごみ</sup>和アートは、パステルを削った粉を指で塗る不思議で心和むアートで、四季折々の小さなアートが展示され、次のような感想が寄せられました。（一部）

- ・とてもやさしい色づかいに心が和みます。
- ・季節ごとそれぞれ美しく、素晴らしい作品ですね。癒やされました。
- ・可愛い作品が多くて、とても楽しかったです。それぞれの方の作風の違いが面白いですね。タイトルの付け方にセンスを感じました。
- ・ステキな作品が多くて、「こういうふうを描いてみたいなあ」と思いました。シールやはんこを使うことで、作品が可愛くなったり、ランクアップできたりとすごいなと思いました。
- ・どれもすてきです。色の力はすごいものですね。心が癒やされました。



なごみ  
パステル和アート作品展

6月は、秋田県花いっぱい運動の会による「花いっぱい秋田を元気に！ 全県花だんコンクール写真展」を実施中です。